

「ちゅら」の漢字について

沖縄語の「ちゅらさん」に当たる日本語は「美しい、清い、清らかだ、綺麗だ」などになると思います。現在、沖縄語の「ちゅら」は漢字を使う場合「清ら」、「美ら」が見られ、いずれが適切かが論じられています。振り仮名はあったりなかったりです。

琉球新報 2008 年 9 月 6 日の「ティータイム」で源哲彦さんが「ちゅら」の漢字は「清ら」と書くべきであると主張しておられますが、至極当然なことです。源さんの堂々たる主張に敬意を表します。

沖縄語として「美ら」と書くのは不適切で、沖縄語の乱れを助長し、沖縄語教育の上から好ましくありません。

沖縄語の「ちゅら」を「美ら」と書く発想は、「ちゅら」を日本語で考えて、日本語での意味が「美(び)」だから「美ら」と書くもので、沖縄語が日本語の下位言語であるという誤解によります。沖縄語は日本語の下にあるのではなく、日本語と深い関係にある、日本語と同列の別の言語系です。

確認された「清ら」、「美ら」の使用例を示します。 × は沖縄語教育上の評価です。

摩文仁の平和祈念堂裏の看板	清ら蝶園		
沖縄県の制度	美ら島大使	×	
古典音楽	清屋節(ちゅらやーぶし)		
琉歌碑	山水ん清らさ(恋し国頭)		
琉歌碑	屋慶名クワーディーサ	美らさ	×
本部の沖縄美ら海水族館			×
企業名、事業名、商品名等多数	美ら		×
伊波普猷全集第 8 巻	きよら = ちゅら = 清ら		
外間守善	沖縄の歴史と文化	清らさん	
沖縄協会	平和学習ハンドブック	清ら島	沖縄
沖縄語普及協議会	沖縄ぬ暮らしとう昔話	美ら	×
沖縄方言普及協議会	沖縄方言新聞第 3 号	美ら	×

「ちゅら」は昔から「清ら」ですが、いつ「美ら」が使われ始めたか、研究してみます。「美ら」は日本語の中でも使われていて、振り仮名もなく「美ら島」は「びらしま」と読まれます。「びらしま」は新しい日本語(造語)です。沖縄語においても「美ら」が氾濫し、「ちゅらさん」が「びらさん」に変わっていく恐れがあり、嘆かわしいことです。

以下に整理しておきます。

ちゅらさん 清らさん ×美らさん ×綺麗さん

(濁る場合)

ちむぢゅらさん 肝清らさん ×肝美らさん ×心美らさん

×ちむじゅらさん